

微分方程式の漸近問題と粘性解理論

研究集会

下記のように研究集会を催しますのでご案内申し上げます。

記

日時：2006年12月1日(金)～12月2日(土)

場所：富山大学 理学部 B121 号室

プログラム

12月1日(金)

9:30～10:20 市原 直幸(大阪大・基礎工)

Recent results on asymptotic solutions of Hamilton-Jacobi equations

10:30～11:20 内山 和哉(富山大・理)

\mathbb{R}^n 上の Hamilton-Jacobi 方程式の解の漸近解への収束率の遅延要因と Aubry 集合

11:30～12:20 大沼 正樹(徳島大学・総合科学)

平均曲率流方程式についての強比較原理

–Lunch Break–

14:00～14:50 丸尾 健二(神戸大・海事科学)

球対称な係数をもつ退化楕円型方程式の全域解と非球対称解の構造

15:00～15:50 森本 宏明(愛媛大・理)

変分不等式の粘性解と American put options

16:10～17:00 出口 英生(富山大・理)

不連続な非線形項を持つ放物型方程式系の定常解の漸近安定性について

12月2日(土)

9:30 ~ 10:20 小林 和夫(早稲田大・教育・総合科学)

退化放物型方程式に対する初期値・境界値問題の L^1 解 (Renormalized solution) の比較
定理

10:30 ~ 11:20 赤木 剛朗(芝浦工大・システム工学)

無限大ラプラシアンを含む放物型方程式について

11:30 ~ 12:20 滝本 和広(広島大・理)

Radó type removability result for fully nonlinear PDEs

研究世話人 藤田 安啓(富山大学・理)

yfujita@sci.u-toyama.ac.jp

石井仁司(早稲田大学・教育・総合科学)

hitoshi.ishii@waseda.jp